

平成20年10月22日

村上市長 大 滝 平 正 様

山北地区地域審議会

会長 齋 藤 寅 二

市総合計画策定に向けた各地域のまちづくりの基本的方向について

(答申)

当地域審議会に諮問された「市総合計画策定に向けた各地域のまちづくりの基本的方向（合併市町村基本計画上のゾーニング）」について、短い期間ではありましたが、委員各位のご理解とご協力により、活発な議論を重ねてまいりました。

議論の中では、海・清流・山里など全市共通的な資源別ゾーンを設定すべきとの意見と、長い歳月を経て固有の風土のもとで培ってきた地域個性を大切に
する観点から、旧市町村単位での個性的なゾーン設定が望ましいとの2極の意見が出されました。

慎重な審議の結果、当地域審議会としては、地域の魅力を理解し認め合いながら個性的で具体的な地域づくりの方向性が必要と判断し、土地利用構想については、旧市町村単位の特性を活かしたまちづくりの基本的方向でのゾーニングを答申といたします。

なお、新市が誕生して1年に満たない状況ですが、合併によりこれまでに培われてきた歴史・文化など地域色の薄れを危惧する声、支所管内の活力の低下も現実化していると聞きます。こういった市民の不安・不満の解消に向けた取り組みを積極的に実行し、「合併して良かった」と市民が実感できる村上市の建設のため、邁進くださるよう強く要望いたします。

また、本地域審議会については、これまでに経験のない初めての審議会でしたので、委員各位も戸惑いがあったかと存じますが、今後は市の施策等についてさらに踏み込んだ審議をし、地域のあり方や均衡ある発展に向けての提言など努力していきたいと考えておりますので、市民に開かれた市政運営に努められるよう切に要望いたします。